

R5-11

火山と自分たちの暮らしを考える合同防災学習

- 管内 上川管内
- 分類 避難訓練 危険対応能力 防災訓練 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習（探究）の時間 特別活動
- 校種 小学校（低） 小学校（中） 小学校（高） 中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 小学校5校による合同防災学習の実施
- 2 実地見学等の体験的な学習や調べ学習等を通して、火山と自分たちの暮らしを考える防災学習の充実

取組の実際

ねらい

- 十勝岳周辺の実地見学等の体験的な学習や調べ学習等を通して、減災・防災を自分事として捉え、火山に対する理解を深めるとともに、防災意識を高める。

内容

1 小学校5校による合同防災学習の実施

町教育委員会の「ふるさと学習」の一環として、火山に対する理解を深め、防災意識を高めるとともに、町の地域資源について関心をもち、ふるさとへの愛着を深めることを目的とし、各小学校の第4学年を対象に、関係機関と連携し、合同の防災学習を実施した。

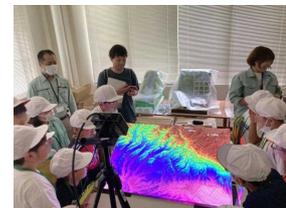


【町教育委員会や関係機関との連携】

2 十勝岳周辺の実地見学等の体験的な学習や調べ学習等を通して、火山と自分たちの暮らしを考える防災学習の充実

<取組内容>

- ・十勝岳に関する講義・砂防情報センター展示物見学
- ・ワイヤーセンサー実験
- ・火山灰や軽石など火山噴出物見学
- ・美瑛川第1号堰堤の見学・ARを活用した体感型学習



【十勝岳に関する講義】

児童は、講義や施設・実地見学、様々な実験、ARを活用した体験的な学習を通して、学んだことをメモに取ったり、他校の児童や友達と対話をしたりしながら、火山と自分たちの暮らしについて自分なりの考えをまとめ、防災意識を高めた。

また、防災学習を通して、町が様々な施設・設備や人々によって守られていることや、火山や自然とともに生きていくことよさや大変さなどに気付き、町の魅力を再発見する機会となった。



【実地見学】

成果と課題

- 合同による見学や実験等、体験的な学習を行うことにより、児童が興味をもって主体的に学習に取り組むとともに、対話や協働的な学びを通して目指す資質・能力の向上を図ることができた。
- 教科等横断的な視点を取り入れ、社会科での学習に生かすとともに、実施後に国語科の学習と関連させながら防災に関する新聞づくりを行い、学びを深めることができた。
- 児童の防災意識の保持と家庭も含めた地域全体の防災意識の高揚につなげるため、保護者への事後アンケートを工夫するなど、家庭と連携した防災教育の充実を図る必要がある。